

期末テストに向けて

通常通りの6時間授業が再開されて3週間が過ぎました。

4月の始業式から新しいクラスで新鮮な気持ちでスタートしたのに、2週間余りでの緊急事態宣言。それにより、授業時間や授業形態が大きく変わって、せっかく身につけていた生活習慣や学習習慣を崩してしまった人もいたかと思います。

この3週間で、中間テストに代わる確認テストの実施、新しい班、座席の決定、中央専門委員会・学年集会・部活動の再開など、ようやく学校生活が軌道に乗り、生活習慣・学習習慣を安定したものにできるようになりました。総合や道徳、学活の時間もできる限り授業に振りかえています。

期末テストも近づいています。テストを意識し、授業に集中できていますか。五教科は確認テストを実施しましたが、やはり次の期末テストの方が、成績に関わる割合が高くなります。

「授業を大事にする」ことは一番の基本です。先生たちがそのことを何度も繰り返すのは、それができていないと中学校での大きな目標である「学力をつける」ことが難しいからです。

授業に集中せずに、私語・居眠り・落書きなどをしている人は、「学力をつける」ことからどんどん遠ざかっていきます。自分自身はどうですか。

授業を大事にしていますか

また、学校だけではなく家庭での学習習慣も大切です。先週末、各クラスの

整美委員が教室のロッカーと机の中の点検をしてくれていました。ロッカーや机の中の整理ができていない人はチェックを受けますが、各教科の教科書やノート、問題集などのほとんどを学校に置いている人もいました。

それらは、「学校に置いていてもいい」だけで、「学校に置いておかなければいけない」わけではありません。勉強に必要なものを持って帰るのは、自分の判断です。

家庭でその日に習った教科を復習するには、教科書やノートが必要になります。ずっと教科書やノートを持って帰らない人は、家庭での学習をおろそかにしていませんか。

もちろん、学校でも家庭でも頑張っている人はたくさんいます。半分以上の人は一生懸命いろんなことに取り組んでいます。授業を受けている様子、ノートのまとめ方、時間の使い方、努力している姿勢は先生たちに伝わっています。

毎日毎日の日々の積み重ねで、努力している人としていない人で差がつくのは当たり前のことです。一か月後、半年後、一年後、そして進路を真剣に考える時期、どれだけ大きな差がつくか想像してみてください。

頑張ることを、努力することを、一生懸命取り組むことを、いつ始めますか。それによって未来の自分は変わります。

まずは、期末テストから。頑張りましょう。

